

科目名	子どものうたとゲーム I						
Course Name	English Songs and Games for Children I						
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	堤 裕美子						
連絡先(質問等)	講義棟3階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP4						
授業の概要と到達目標	楽しく英語を学習するために効果的な歌やゲームの実施方法を学ぶ。 ①英語圏の子ども向けの歌や、子ども英語教育を目的に作られた英語の歌を覚え指導することができるようにする。 ②子どもが英語を身につけるために楽しみながら興じることができるゲームを覚え指導することができるようにする。 ③子どもに歌やゲームを教えるために、教える立場から何を注意して子どもたちをリードすればよいか学び、実践することができるようにする						
授業の方法	毎回、資料で紹介されている歌やゲームを模擬授業の中で実際に行い、遊びを通して学びを伝える効果的な方法を習得します。						
学習成果	L01	英語の歌やゲームを知り、基本的な教授法を実践できる。					
	L02						
	L03	学習目標を効果的に伝える授業指導できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト、平常試験は試験後に模範解答を示し、試験結果は授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	なし 授業内で毎回資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	授業内で学習した教材や歌は積極的に覚える。						
担当教員の実務経験	職種: 児童英語指導員 職歴: 10年 子どもの積極性を維持できる授業運営のコツを学ぶことができる。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業の雰囲気作りに協力し、自発的に学んで学習成果を高めようとする態度や、英語の発話を積極的に行っているかどうかを評価する。	20			
レポート/作品	英語の歌やゲームを覚えるために発音記号を調べたり、歌詞の意味や単語の由来を調べる課題を出すことがある。	10			
発表					
小テスト	毎回、前回学習した歌やゲームの方法を覚えたかどうか小テストによって確認する。			35	
試験	課題として指定された歌やゲームの発表試験を行う。			35	
その他					
合 計		30		70	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明(授業の方針、進め方、評価方法等の説明)
	事前・事後学習	音声ファイルを聴き、初回で紹介した2曲を覚える。
2	授業内容	1. Name Games and Greeting Songs(1)
	事前・事後学習	音声ファイルを聴いて歌と身振りを練習する。
3	授業内容	1. Name Games and Greeting Songs(2)
	事前・事後学習	10～15分の活動の主導ができるよう復習する。
4	授業内容	2. The Alphabet(1)
	事前・事後学習	音声ファイルを聴いて歌と身振りを練習する。
5	授業内容	2. The Alphabet(2)
	事前・事後学習	10～15分の活動の主導ができるよう復習する。
6	授業内容	3. Numbers(1)
	事前・事後学習	音声ファイルを聴いて歌と身振りを練習する。
7	授業内容	3. Numbers(2)
	事前・事後学習	10～15分の活動の主導ができるよう復習する。
8	授業内容	4. Colors(1)
	事前・事後学習	音声ファイルを聴いて歌と身振りを練習する。
9	授業内容	4. Colors(2)
	事前・事後学習	10～15分の活動の主導ができるよう復習する。
10	授業内容	5. Week, Months(1)
	事前・事後学習	音声ファイルを聴いて歌と身振りを練習する。
11	授業内容	5. Week, Months(2)
	事前・事後学習	10～15分の活動の主導ができるよう復習する。
12	授業内容	6. Action(1)
	事前・事後学習	音声ファイルを聴いて歌と身振りを練習する。
13	授業内容	6. Action(2)
	事前・事後学習	10～15分の活動の主導ができるよう復習する。
14	授業内容	7. Chants(1)
	事前・事後学習	音声ファイルを聴いて歌と身振りを練習する。
15	授業内容	7. Chants(2)
	事前・事後学習	10～15分の活動の主導ができるよう復習する。